



The 恵中

恵庭中学校 学校だより
令和3年5月26日

*重点教育目標

「夢をはぐくみ、ともに未来をつくる生徒の育成 ◇自立 ◇協働 ◇創造」

学校ホームページ <http://www10.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0120004>

『日本で一番あいさつが響く学校』に

校長 津谷 昌樹



「おはようございます」 朝、学校の周りを歩きながら恵中生や柏小児童とあいさつをかわします。小学生の元気なあいさつ、中学生の明るく爽やかなあいさつは、くもり空の時でも、心を晴れやかにしてくれます。時々すれ違う高校生からも気持ちの良いあいさつが返ってきます。きっと恵中の卒業生です。交差点には地域の方が立ってくれていることに安心と感謝の気持ちがわいてきます。5月に入ってからグラウンドフェンス際に植えられたチューリップやスイセン、スズランのきれいな花が咲き、心がなごみます。

4月からおよそ2ヶ月がたち、恵中生は「あいさつが立派」だと感心しています。

年度はじめに各学級で配られた生徒心得にも、先生方の会議の資料にも、『日本で一番あいさつが響く学校』が目標に掲げられていました。今年だけでなく、これまでに生徒の皆さんと先生方とで取り組んできた積み重ねが、現在の恵中生の姿に表れているのだと思っています。

あいさつは、「コミュニケーションの基本」「人と人をつなぐ魔法の言葉」などと言われます。実際に、あいさつをかわすことで親近感がわいたり、お互いの関係が良くなったりすることがあります。それは、あいさつが、言葉と一緒に気持ちを伝える行為だからです。「心のこもったあいさつ」という時の「心」とは、例えば、相手に対する敬意や親しみの気持ちのことです。お互いに気持ちを伝えあうのですから、ただ言葉を発すれば良いのではなく、あいさつをする時の声の大きさやトーン、視線や表情はとても大切です。

あいさつをする場面や相手はいろいろですから、家族、友だち、先輩、先生、地域の方など、その時々状況に応じたあいさつを心がけ、真の『日本一』を目指していきましょう。



《保護者の皆様へ》

長引くコロナ禍により、毎日の感染症対応や大きな行事の延期など、いつも通りには進められない学校生活が続く中、落ち着いた雰囲気を持続し、学習や生活に真剣に取り組む子どもたちの姿をととても頼もしく感じています。本校としましては、国や北海道、恵庭市教委の通知や指示に基づき、できる限りの感染症対策を講じながら、子どもたちの学習活動を継続してまいります。ご家庭におきましても、さらに感染予防に努めていただきますとともに、「生徒本人及び同居の家族に風邪症状等がある場合には自宅で休養する」ことにつきましても、あらためてご理解とご協力をお願いいたします。